

新潟工科専門学校 シラバス (授業計画書)

科目名	インテリア演習Ⅰ				
担当教員	渡部 和久		実務授業の有無	○	
対象学科	インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築とデザインの基礎、インテリア・住宅空間・実務に関する基本などを学び、講義を通しインテリアコーディネーター資格の取得を目指す 1. 建築、デザイン他インテリア関連の諸知識、実務ををしっかり理解する。 2. コーディネーターとしての実務、プレゼン手法を理解する。 3. インテリアコーディネーター資格試験対策。 4. 講義→練習問題→解答→過去問題→解答→解説を繰り返すことで習熟度を上げる。				
学習目標 (到達目標)	①資格取得を目指す ②インテリアコーディネーターとして必要な実務知識、商品知識を習得する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①インテリアコーディネーター公式テキスト上、下巻 ②過去問題集 上、下巻				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	第6章 インテリアの構造・構法と仕上げ ①重要章：建築の構造・構法 インテリアの構法 実例をもとにした建築、デザインの基礎		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
2	第6章 インテリアの構造・構法と仕上げ ①重要章：造作と造作材～インテリアのリフォーム		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
3	第7章 環境と設備 ①環境工学 住宅設備		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
4	第9章 インテリア関連の法規、規格、制度 ①主な関連法規		方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
5	試験対策－1 ①1次過去問題 予想問題の繰り返し		方法：過去問題から抜粋し小テストで理解度の確認。重要章を徹底して、合格点ラインまでもっていく 解答→解説を行う。		
6	試験対策－2 ①単元毎に穴埋め問題を課題とする		自宅学習を定着し、暗記の繰り返しで難関資格をめざす 方法：過去問題から抜粋し小テストで理解度の確認。自宅学習を定着し、暗記の繰り返しで難関資格をめざす 解答→解説を行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業での取り組み姿勢、課題の提出、テストで評価  授業態度、努力30%、テスト60% 出席日数10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			資格取得を目指す。しっかりと準備して意識づけを行い、授業に臨みませる。インテリアコーディネーター学科試験でも出てくる分野なを、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴	一級建築士として建築現場監督業務を約10年携わる				